

# 水道事業会計

令和5年度予算の概要について

# 令和5年度予算について

## ▶ 予算編成における基本的な考え方

- 「川越市上下水道ビジョン」及び「川越市上下水道事業経営戦略」に掲げる事業の着実な執行を図れるよう取り組みました。
- 厳しい経営状況が見込まれる中、事業の安定性と将来にわたる継続性を確保しつつ、更なる経営の効率化を図り、経営基盤の強化に取り組みました。

## ▶ 収益的収支

- 収入については引き続き債権徴収に厳正に対応することによる収納率の向上や、資産の有効活用などによる収入の確保に努めました。
- 支出については電気料金等が高騰する中で事業費の縮減や支出の削減に努めました。
- 「費用対効果」を考慮し、優先度の高い事業への財源配分に努めました。

## ▶ 資本的収支

- 経営戦略で策定した投資計画に基づき、建設改良費を計上しました。

# 収益的収支（3条予算）

# 【税抜き】

（単位：円）

科目	令和5年度当初予算額	令和4年度当初予算額	【参考】令和4年度決算額
水道事業収益	6,363,223,000	6,331,719,000	6,224,065,749
営業収益	5,949,232,000	5,909,589,000	5,662,860,925
（うち給水収益）	(5,293,609,000)	(5,278,533,000)	(5,077,411,160)
営業外収益	413,976,000	422,115,000	559,854,148
特別利益	15,000	15,000	1,350,676
水道事業費用	6,342,611,000	6,079,252,000	5,851,132,867
営業費用	6,234,043,000	5,950,031,000	5,740,157,371
営業外費用	98,795,000	119,404,000	110,370,531
特別損失	4,773,000	4,817,000	604,965
予備費	5,000,000	5,000,000	0
当年度純利益	20,612,000	252,467,000	372,932,882

# 収益的収支の主な内容

## ▶ 水道事業収益 63億6,322万3千円（前年度比3,150万4千円の増）

給水収益 52億9,360万9千円（1,507万6千円増）

⇒過去の実績値や人口推計値等により算出。

## ▶ 水道事業費用 63億4,261万1千円（前年度比2億6,335万9千円の増）

浄水場運転事業 26億8,701万9千円（2億2,323万9千円増）

⇒浄水場等の施設運転や水質の管理を行うための事業。

◎主な内容：県水受水費（21億1,112万2千円）

動力費（3億6,303万4千円）

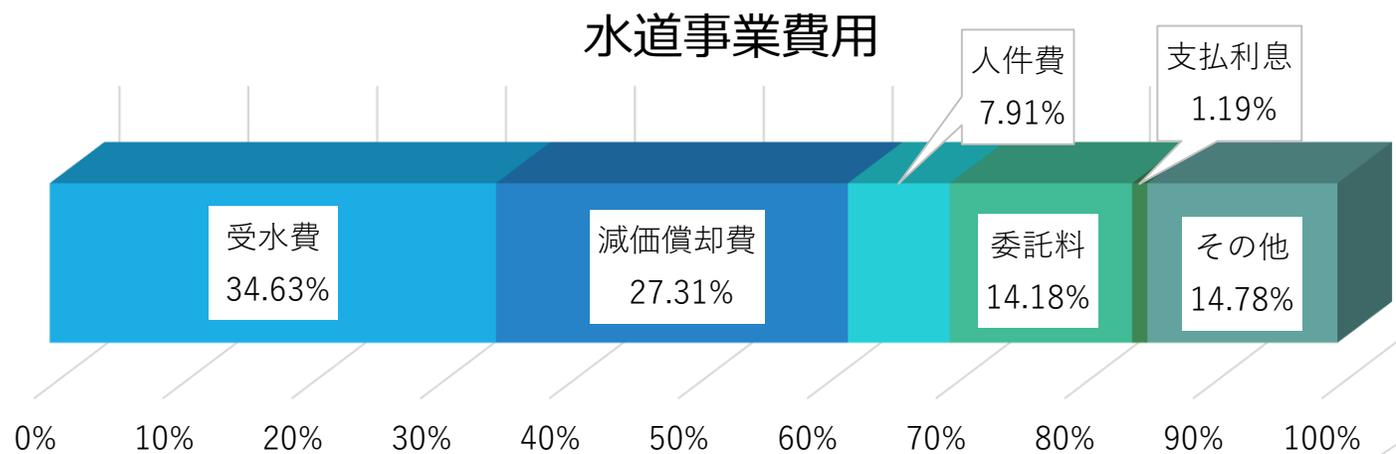
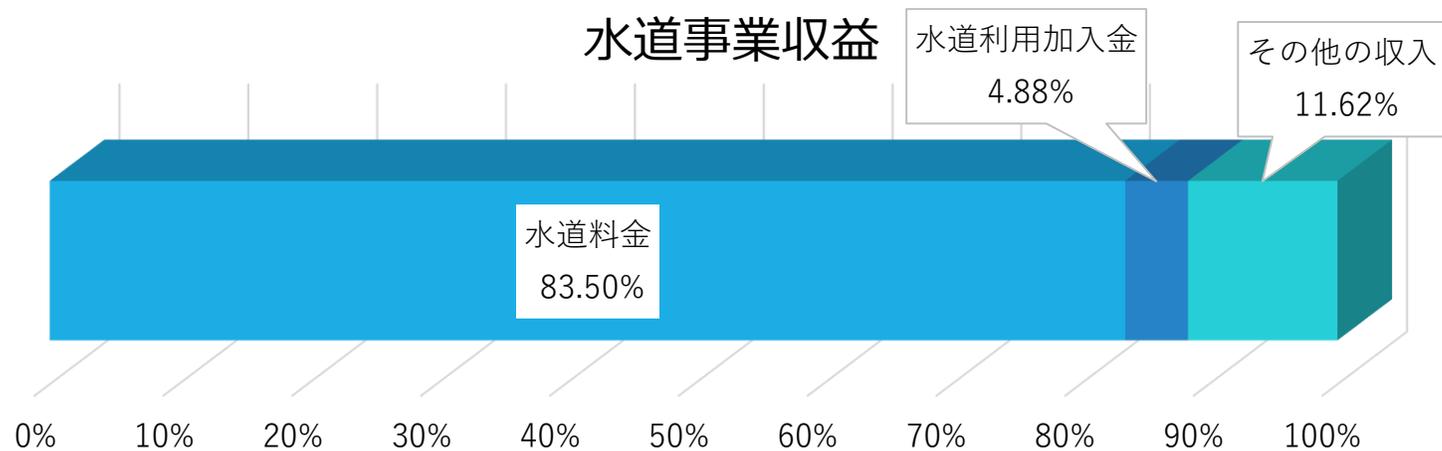
営業共通事務 2億9,883万円（1,321万1千円増）

⇒水道料金等の徴収等の営業業務を行うための事業。

◎主な内容：営業業務包括業務委託（2億7,000万円）

水道料金等収納業務委託（コンビニ収納）（1,312万6千円）

# 収益的収支の構成比率



# 資本的収支（4条予算）

# 【税込み】

（単位：円）

科目	令和5年度当初予算額	令和4年度当初予算額	【参考】令和4年度決算額
資本的収入	1,080,011,000	1,100,351,000	860,985,630
企業債	600,000,000	600,000,000	600,000,000
国庫補助金	4,221,000	0	0
他会計負担金	43,481,000	43,183,000	43,181,000
工事負担金	345,854,000	367,797,000	140,034,630
水道施設加入金	86,454,000	89,370,000	77,524,700
固定資産売却代金	1,000	1,000	245,300
資本的支出	4,066,869,000	4,287,955,000	3,521,986,740
建設改良費	3,388,168,000	3,575,347,000	2,814,379,999
企業債償還金	673,701,000	707,608,000	707,606,741
予備費	5,000,000	5,000,000	0
資本的収支の不足額	2,986,858,000	3,187,604,000	2,661,001,110

# 資本的収支の主な内容

## ▶ 資本的収入 10億8,001万1千円（前年度比2,034万円の減）

企業債 6億円（同額）

⇒ 内部留保資金残高を調整するため投資財政計画から1億円減額。

資本的収支の不足額 29億8,685万8千円（2億74万6千円減）

⇒ 消費税資本的収支調整額（2億2,219万5千円）、減債積立金（2億円）

建設改良積立金（1億円）、損益勘定留保資金（24億6,466万3千円）で補填。

## ▶ 資本的支出 40億6,686万9千円（前年度比2億2,108万6千円の減）

配水管更新事業 21億4,464万1千円（4億3,913万1千円減）

⇒ 重要施設配水管の耐震化や老朽管の更新を行う事業。

◎ 主な内容：重要施設配水管の耐震化（3,470m）

老朽管の更新（14,090m）

# 資本的収支の構成比率

